

平成20年度

# 町の家計簿を

## 公表します

平成20年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

町の財政状況は依然厳しい状況下にあります。健全な財政基盤の確立を目指すため、平成17年度から5カ年計画に沿って行財政改革を断行した結果、少しずつですが成果が上がってきています。

今後もより一層効率的な行政運営に努めていきます。

### 一般会計

歳入総額は、26億2428万8千円（前年度比4.9%増）、歳出総額は、24億574万4千円（前年度比4.3%増）で、実質収支額は1億956万93千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は1億1千万円を取り崩しましたが、2億1230万9千円を積み立

### 歳入

てましたので、年度末の基金残高は4億7364万4千円となり1億230万9千円の増となりました。

歳入の32.2%を占める町税収入は、町民税の基準となる平成19年中の所得に伸びがあったことから、1837万6千円（前年度比2.2%）増となりました。

### 歳出

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は、8億701万円で2531万7千円（前年度比3.2%）の増となりました。地方交付税と町税で63%を占めています。

歳出を性質別に見ると、人件費（職員の給与や議員の報酬等）、補助費、物件費などの経常的経費が17億7914万1千円で、全体の74%を占めており、道路の整備などの事業を行うための投資的経費は2億1千万円で、全体の8.3%となっています。

平成20年度に実施した主な事業は下記のとおりです。行政改革プランによる人件費や物件費等の経常的経

費の削減に努め、起債（町の借金）を控え堅実な財政運営を行った結果、普通会計における経常収支比率（経常的経費に充てられた毎年経常的に入り、自由に使えるお金）の割合は、2.9%改善し、91.2%になりました。

しかし、依然

として高い状態で、財政構造の弾力性を失っていることから、持続可能な財政運営のため更なる経費の削減を図っていかねばなりません。

### 平成20年度に実施した主な事業

- 町道並木郡根岸線道路改良事業 1億809万円



平成20年12月田中踏切拡幅工事が終了した町道並木郡根岸線

- 町道武田古原線道路改良事業 1,208万円

### 基金の推移（一般会計分）

